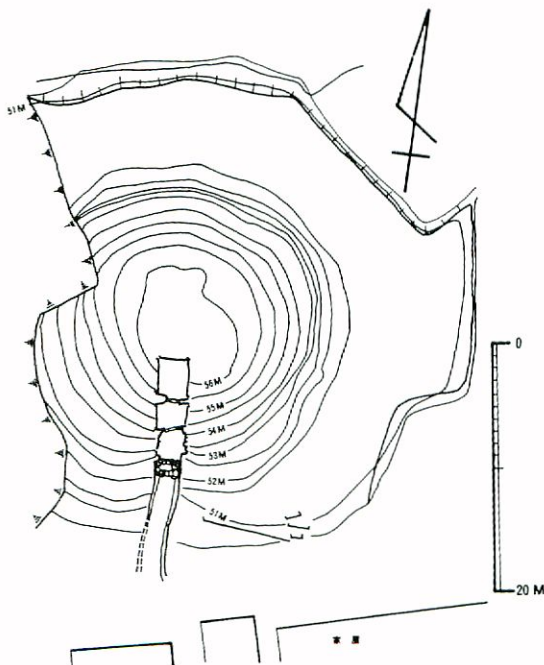


たしろおおた
国史跡 田代太田古墳 1

鳥栖市教育委員会

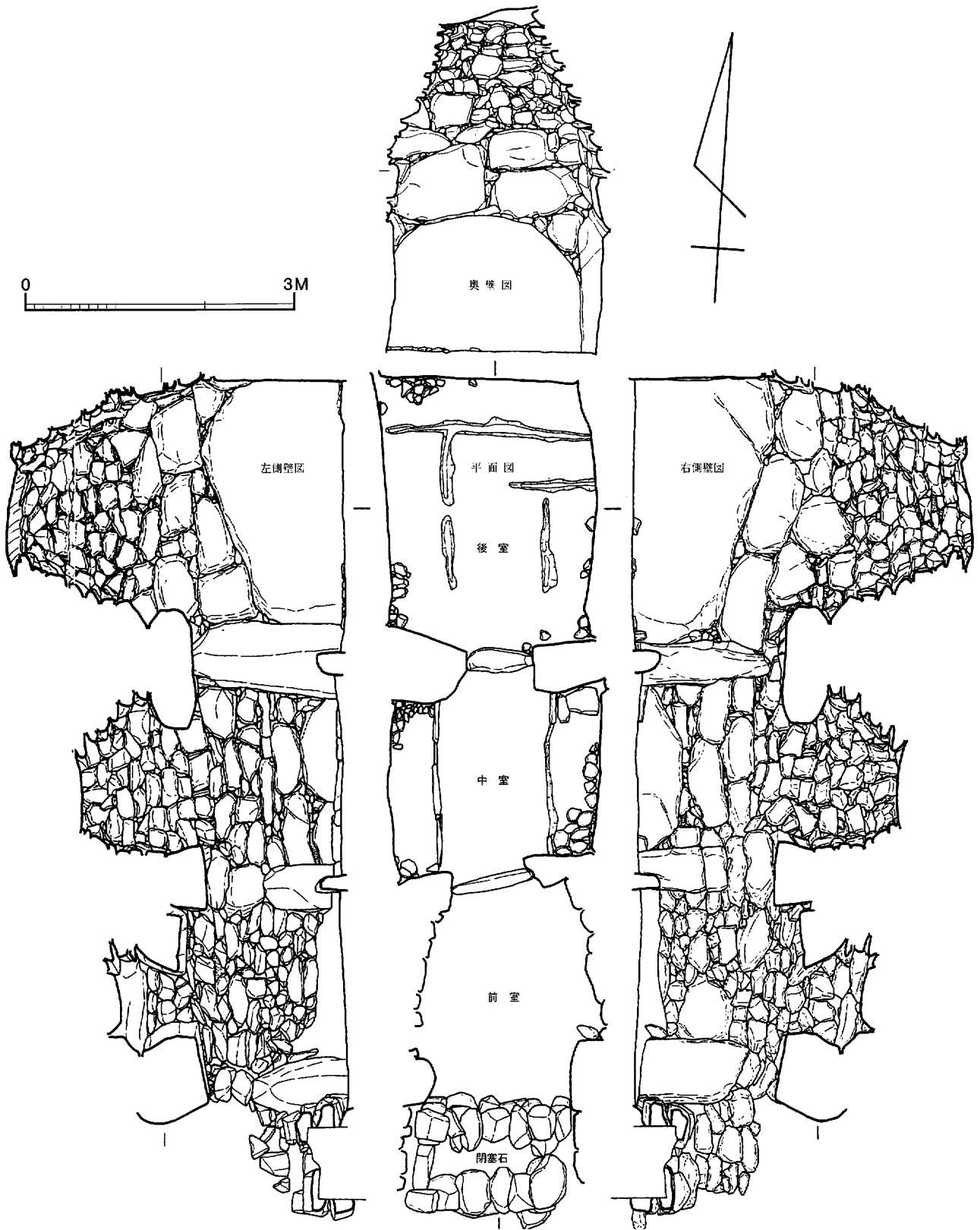


田代太田古墳の入口



鳥栖市田代本町太田に位置する、早くから知られた彩色壁画系の装飾古墳で、1925（大正15）年に国史跡に指定されています。付近には、剣塚・岡寺・庚申堂塚などの6世紀代の大型前方後円墳が点在し、当時この地域に勢力を持った豪族がいたことがわかります。

田代太田古墳は、6世紀後半代に造られた直径約42mの大型円墳で、高さ約6mの墳丘は二段に築かれています。石室は全長約9mで、前室、中室、後室の3室からなる珍しい構造をしており、横穴式石室が南に開口しています。中室と後室の天井部はドーム状の構造をしています。死者を安置する屍床は後室に3体分、中室に2体分設けられています。



石室実測図